

活動の様子



H22.10 地元地域の文化祭



H22.10 県立中央病院視察



H23.3 街頭募金



H23.3 支援物資運搬



H23.5 二期目の登庁



H23.5 山梨県から国への要望



H23.6 南三陸町視察



H23.7 市川三郷町調査

できました



横断歩道(甲府駅南口)



健康の森 見晴らし台



荒川の手すり(飯田)



河川樹木伐採(羽黒町)



グレーチング設置(羽黒町)



管理道路補修(荒川)



土手の除草(富士見)

安本よしのり オフィシャルサイト

ホームページは⇒ <http://www4.ocn.ne.jp/~yasumoto/>

ブログは⇒ <http://yasumoto.mo-blog.jp/blog/>

ご相談は
お気軽に... TEL/FAX 055-252-0890
〒400-0071 甲府市羽黒町1159-3

E-mail : yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp



皆様の声をお待ちしております!



山梨県議会議員

安本よしのり 県議会だより

県議会会派
公明党

2011年11月発行
発行者：安本よしのり
甲府市羽黒町1159-3
TEL/FAX：055-252-0890
E-mail：yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp

vol.7

ごあいさつ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
「安本よしのり県議会だより」第7号をお届けさせていただきます。
今号では、平成22年9月県議会並びに平成23年6月県議会の質問内容を
中心にご報告させていただきます。
平成22年9月には、うつ病対策や女性と子どもの健康対策などについて、
また、平成23年6月には、防災体制の強化やがん検診受診率向上への取り組み
について質問しました。

今期、決意も新たに、なお一層懸命に、皆様のために働いて参ります。
平成23年11月吉日

山梨県議会議員 安本よしのり



平成23年9月 教育厚生委員会

平成23年6月定例県議会 前文から(要約)

初めに、3月11日に発生した未曾有の大災害であります東日本大震災は、多くの尊い人命を奪い、今なお多くの方々が避難生活を送られています。ここに、改めて、亡くなられた皆様の御冥福と、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、私は、本年4月の県議会議員選挙におきまして、大勢の皆様から真心の御支援を賜り、二期目の当選をさせていただきました。このたびの選挙戦では、地方議会や地方議員のあり方に対し、さまざまな問題提起がなされました。具体的には、議会が行政を監視する機能を十分に発揮していないとか、議員の仕事ぶりが見えないとか、議会がもっと政策立案すべきだなどの指摘です。住民のさまざまな指摘に
応えて、二代表制における議会の役割を明確にし、県民からさらに信頼される県議会への
議会改革に、今こそ取り組むべきだと考えているところであります。

二期目に当たり、改めて、公明党の原点であります「大衆とともに」の視点から、県民の声を県政に届け、一つ一つ政策実現を目指して県民のための議員として働いてまいることを決意し、以下、質問に入ります。

平成22年9月定例県議会一般質問

◆ 次の項目について質問しました。

- うつ病対策について
- 女性と子どもの健康対策について
 - 子宮頸がん予防ワクチン接種助成の補正予算対応について
 - 乳幼児医療費助成制度の対象年齢の拡大について
 - 妊婦健診の公費助成の継続について
 - ヒトT細胞白血病ウイルス1型への対応について
- ドクターヘリの導入について
- 障害者の職業能力の向上及び雇用につながるアビリンピックについて
- 公共建築物等における県産材利用促進への取り組みについて



平成22年9月定例県議会

主な質疑・答弁の内容

1 うつ病対策について

◆ 「認知行動療法を受けられる県内の病院はないか」という問い合わせがある。医療機関に対し、認知行動療法を活用したうつ病治療の導入や情報の周知を図っていくべきでは。

答 認知行動療法への関心が高まっているが、県内では診療報酬の対象となる認知行動療法を導入している医療機関はない。専門医等が不足しており、国の専門医養成枠の拡大を要望したい。また、様々な機会を通じ、県民に正しい知識の普及を図り、医療機関へも働きかけを行い広く実施されるよう努める。



2 女性と子どもの健康対策について

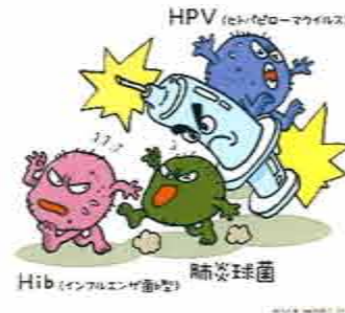
◆ 子宮頸がん予防ワクチン接種助成の補正予算対応について 県の予算は、接種率を対象者の50%と見込んでいるが、これを超えるようであれば、補正予算で対応すべきでは。

答 定期的に接種状況を把握し、予算面でも適切に対応していきたい。

◆ ヒトT細胞白血病ウイルス1型への対応について

このウイルスは、母乳を介して感染をすることがあるが、発症までの期間が長く、自身がキャリアであると知らずに我が子に感染をさせてしまうケースがある。妊婦時の検査の勧奨やウイルス感染者への相談体制を充実させ、赤ちゃんへの感染を防ぐことが大事では。

答 本年六月に、妊婦に対し必要な情報提供をするよう市町村に通知をした。市町村ではウイルスに関する情報提供を開始した。更に抗体検査陽性の妊婦への授乳指導などの相談体制の準備を進めているところ。引き続き助言や県民への普及啓発に努めたい。



平成23年6月定例県議会一般質問

◆ 次の項目について質問しました。

- 防災体制の強化について
 - 都道府県や民間との応援協定の見直し等について
 - 県所有情報システムのデータ保全について
 - 被災者支援のための情報システムの普及について
- がん検診受診率向上等への取り組みについて
- うつ病対策について
- 武田の杜・健康の森ゾーンの再整備について
- 病弱な生徒の高等部教育の実施について



平成23年6月定例県議会

防災体制の強化について

◆ 都道府県や民間との応援協定の見直し等は

答 復旧要員の確保や支援・生活必需物資の調達協定などを進めてきたが、今回の大震災では協定内容が迅速に実行できなかった面があり改善を検討している。このほか燃料不足等で物流が停滞したという教訓から燃料調達の検討を進めたい。

◆ 被災者支援のための情報システムの普及について 平時から災害時に住民本位の行政サービスが提供される体制づくりが求められている今、県内市町村への本システムの導入普及啓発が必要では。

答 被災者に対する支援業務が円滑に実施されるよう、更なる周知に努める。



武田の杜・健康の森ゾーンの再整備について

◆ 再整備に当たり、森林セラピー基地及び、セラピーロードとしての認定を取得したらどうか。

答 恩賜林御下賜百周年を契機に、より魅力的な森林公園へと再整備したい。周辺の医療機関や福祉施設、旅館やホテルなどと連携を図りながら、森林セラピー基地等の認定の取得に向け、取り組んでいく。

病弱な生徒の高等部教育の実施について

◆ 病弱特別支援学校卒業時に、病状が改善されていない子供の中には、行き場を失ったり、高校に進学したものの中途退学を余儀なくされる子供もいる。こうした子供たちへの高等部教育の実施は。

答 策定中の特別支援教育推進プランにおいて「高等学校へ進学できない生徒の実態を把握し、高等部を設置する肢体不自由特別支援学校での受け入れを検討する」とし、高等部教育へのニーズに応えられるよう取り組むこととしている。



県立富士見支援学校旭分校にて